

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23326
事業名	プラスチック選別施設運営管理費					
評価担当課	所属名	環)環境事業部 施設管理課				
	課長名	犬伏 哲浩	担当者名	伊藤 高二郎	電話番号	211-2922
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費					
	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理					
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他				
	目的	短期	プラント設備の運転、機器の点検整備・修繕を行う。 建物及び付帯設備の維持管理を行う。			
		長期	容器包装リサイクル法に基づき、市が分別収集した容器包装プラスチックを国が定める分別基準に適合させるために選別処理する。			
	取組内容	当該施設は、容器包装リサイクル法に基づき、市が分別収集した資源物(容器包装プラスチック)を選別、圧縮、梱包等し、国が定める分別基準に適合させるための施設であり、当該施設の運営管理を業務委託にて行っている。 年間処理量(計画): 30,100t				
	実施結果	搬入されたプラスチックを適正に選別処理することができた。必要な整備・修繕を行ったことにより、故障による受入停止は無かった。 しかし、近年、容器包装プラスチックに混入した電子機器のバッテリー等が原因の発煙や発火が相次いでおり、処理への大きな影響は出ていないが、短時間の受入停止をせざるを得ない場面があった。				
事業実施における工夫点	施設の老朽化に伴い適切な整備や保守を行う必要があるが、実施内容を精査し経費の圧縮に努めた。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律 (容器包装リサイクル法)					
他都市の状況	容器包装リサイクル法に基づいて行われている当該事業については、他の政令市においても同様に行われている。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	311,868	261,646	304,322	264,899	
うち特定財源	285,495	261,646	261,646	0	
人工	1.0	1.0	1.0	1.0	
人件費	7,200	7,200	7,200	7,200	
計(事業費+人件費)	319,068	268,846	311,522	272,099	
事業費の内訳	令和3年度決算	修繕需用費 10,742千円 電気料金等光熱水費 27,168千円 運転業務等委託料 264,232千円 その他 2,180千円			
	令和4年度予算	修繕需用費 1,500千円 電気料金等光熱水費 29,134千円 運転業務等委託料 231,977千円 その他 2,288千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	容器包装プラスチック処理量(t)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	31,354	30,100	30,916	30,300	
活動指標2	指標名	プラスチックペールの品質評価結果(ランク)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	A	A	A	A	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	市内で収集された容器包装プラスチックはこの施設で適正な選別処理を行った。近年、リチウムイオン電池が使用された電子機器の混入に起因する発煙・発火が相次いでいるが、処理への大きな影響は出ていない。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	プラント機器及び建物の老朽化により修繕、整備が必要な箇所は増加傾向にあるが、修繕・整備内容を精査することにより可能な限り経費削減を図っている。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	当該施設の運転管理等を可能な限り委託で実施することにより、民間のノウハウを活用し効率的に事業を進めている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	発煙・発火によるプラント機器の短時間の受入停止はあったが、故障による長期に渡る受入停止はなく、適切な処理を行うことができた。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	当該施設は、「容器包装プラスチック」を選別処理する市内唯一の施設であることから、適切な機器の整備・更新を行い、引き続き、長期間の受入れ停止が無いよう運用していく。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	適切な機器整備を行うため、必要となる修繕等の内容を整理した。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	適切な管理、整備を行い、長期間の受入の停止が無く運用できたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 限られた経費の中で効率的に必要な修繕を進めていく。			
	予算	● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他 現状の予算規模で不足する分については、拡充も視野に入れながら適切な整備を進めていく。		見直し効果額	0 千円